

## 平成13年度 研究集録

「豊かな人間性を育てる特別活動－特別活動の役割を問い直す－」

### ◎ 平成13年度 研究方針

- ・ 特別活動が総合的な学習の時間に重要な役割を担うことが認識されるようになった。
- ・ しかし、特別活動で育つ学力としてどんなものがあるかがよく分からないといった声が聞かれる。
- ・ そこで、本年度は特別活動の役割を問い直し特別活動で育つ学力を追究してきた。

#### ○ 実践研究部の構成と内容

### ◎ 第1部会（小学校学級活動）の取り組み

- ・ 「子どもたちは学校に来るのではない。学級に来るのだ。」学校生活の大部分を過ごす学級という集団をよりよいものにすることはたいへん重要である。
- ・ 学級集団の人間関係づくりを取り上げ、子どもたちの様々な傾向から、よりよい集団づくりのために、学級活動ができることは何かを追究してきた。

#### ○ <よりよい集団づくりについて>

##### ○内容（1）

- ・ 実践1 ひまわりいっぱい咲かせよう（小3）
- ・ 実践2 学級目標に近づく集会をしよう（小6）
- ・ 実践3 1年生とスポーツ集会をしよう（小5）
- ・ 実践4 小学校最後の運動会を盛り上げよう（小6）
- ・ 実践5 夏休みの思い出を発表しよう（小6）
- ・ 実践6 席替え直後のお勧めゲーム（小5）
- ・ 実践7 係活動をパワーアップしよう（小5）

##### ○内容（2）

- ・ 実践8 男女の協力（人間関係 小5）
- ・ 実践9 四つの部屋（人権尊重 小5）

#### ○ まとめ

### ◎ 第2部会（児童会活動）の取り組み

- ・ 児童会活動は、学校全体で行う児童の自発的・自治的な活動である。
- ・ 児童会集会活動や代表委員会活動、委員会活動などの実践事例をもとに、児童会活動を通して子どもたちに身に付く力を明らかにしていった。

#### ○ <児童会活動で育てたい力>

- 実践1 エコ・ワールド集会をしよう
- 実践2 みんなで校内チャレンジラリーを楽しもう！
- 実践3 全校スポーツ集会をしよう

◎ 第3部会（中学校）の取り組み

- ・ 中学校では、学級活動、生徒会活動などの集団活動を通して、集団や社会の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てる。
- ・ 今年度は、学級活動、生徒会活動を通して、どのような活動に取り組むことができ、どのような力を生徒に身に付けることができるのかを研究してきた。

○ <中学校の特別活動>

- 実践1 心をひとつに！～合唱コンクールの取り組みを通して～
- 実践2 持ち味を発揮し合える学級活動
- 実践3 **Change my heart** 世界の人々に心を届けよう  
～共に学び合える文化祭を目指して～

○ まとめ

◎ 第4部会（クラブ活動、学校行事、総合的な学習等）の取り組み

- ・ 特別活動と総合的な学習の時間は互いの特質を生かし、連携し合って実践を進めると効果的である。
- ・ 総合的な学習の時間に生かすことのできる特別活動で培われた力とは何なのかを研究してきた。

○ <総合的な学習の時間とともに育てる力>

- 実践1 協力して実践する力を育てる学年集会活動（小6）
- 実践2 人を思いやる心を育てる話合い活動（小5）
- 実践3 環境にやさしくできる実践的な態度を育てる児童会活動
- 実践4 進んで奉仕に取り組む子どもを育てる学級活動（小5）
- 実践5 人の気持ちを考えて行動する態度を育てる学級集会活動（小3）
- 実践6 友達と力を合わせて問題を解決する学年集会活動（6年）
- 実践7 活動意欲を高める係活動ーコンピュータを活用してー（小4）

○ まとめ

◎ 第5部会（特活入門部）の取り組み

- ・ 特別活動の基礎・基本、指導の手立てなどを学習してきた。
- ・ 学級活動を中心に、児童会活動、クラブ活動、学校行事について、資料をもとに話し合ったり、日常の指導で悩んでいることの解決策を互いに見出したりしてきた。

- 1 活動の経過
- 2 活動の様子
- 3 おわりに

◎ 後記

委員長 渡辺 一雄

- ・ 本研究会では、長年「豊かな人間性の育成」をテーマに実践を積み重ねてきた。
- ・ 本年度は、新指導要領の完全実施に向け、特別活動の役割を問い直し、特別活動の本来のねらいの達成に向けた具体的な活動の在り方を探ってきた。
- ・ しかし、子どもたちの自発的・自治的な活動の時間をどこまで保障できるかなど課題は少なくない。
- ・ 今後もさらに実践や議論を積み重ね、子どもの成長により大きな意義をもつ活動の在り方を求めていくとともに、多くの先生にその意義を理解してもらう努力が必要。